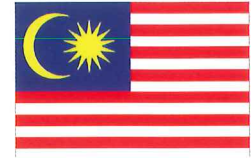


第30回（2023年度）鹿児島県青少年国際協力体験事業



Jumpa lagi kg. Lenggong!

～また会おうね！レンゴン村～



鹿児島県青少年国際協力体験事業実行委員会

鹿児島県青年海外協力隊を支援する会

青年海外協力隊鹿児島県OB会

公益財団法人 鹿児島県国際交流協会

はじめに



鹿児島県青少年国際協力体験事業実行委員会

会長 弓場 秋信

(鹿児島県青年海外協力隊を支援する会 事務局長)

鹿児島県青少年国際協力体験事業は、開発途上国で「国づくり、人づくりに貢献する」青年海外協力隊員の活動現場に鹿児島の青少年を派遣し、国際協力に対する理解を深めると共に、ホームステイ等での異文化体験、学校等での現地学生との交流を通して、国際性豊かな青少年を育成することを目的に実施しています。本事業は、鹿児島県青年海外協力隊を支援する会、青年海外協力隊鹿児島県 OB 会、公益財団法人鹿児島県国際交流協会で構成された実行委員会で開催しており、平成3年にマレーシアに派遣して以来、30回にわたってインドネシア、タイ、ベトナム、ラオス、カンボジア、スリランカの7ヶ国に県下一円から今回の15名を含む376名の中高生を派遣してきました。

今年度は感染症拡大の影響を受け、4年ぶりの実施となりました。派遣国は、予算、本県出身者の協力隊員の有無、治安状況、ホームステイ先の確保等から候補国を検討し、30回目の節目の派遣として、第1回目に訪れたマレーシアを派遣国として決定しました。本事業の共催市である鹿児島市、鹿屋市、霧島市、枕崎市、南九州市、南さつま市、いちき串木野市からの推薦の12名と、企業の協賛を得ての実行委員会枠3名の計15名の団員は、2回の事前研修を経て、7月23日～30日までの日程で、JICA マレーシア事務所、青年海外協力隊員2名の活動先視察、ペラ州レンゴン地区でのホームステイ、現地学生との交流を行いました。

ここに団員の日々の体験・見たこと・感じたことが綴られた報告書「Jumpa lagi kampung Lenggong」を作成いたしましたので、多くの皆様にご覧いただければ甚大に存じます。

終わりに、本事業実施に当たりご支援ご協力を頂きました、共催市、協賛企業、国際協力機構 JICA 九州センター、JICA マレーシア事務所、心温まるもてなしでホームステイを受け入れて頂いたペラ州レンゴン地区の皆様、そして活動中の JICA 海外協力隊員をはじめとする多くの関係者に、心より感謝申し上げますとともに、今後とも本事業へのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

も く じ

はじめに

鹿児島県青少年国際協力体験事業実行委員会 会長 弓場 秋信

ごあいさつ 1

鹿児島県観光・文化スポーツ部 部長 悦田 克己

第30回（2023年度）鹿児島県青少年国際協力体験事業の概要 2

参加団員等名簿 3

スケジュール 4

地図 5

体験事業ドキュメント（総集編） 6

～事前研修から帰国報告会までの様子を団員の日記と併せて紹介します～

団員が感じたこと 16

「おもてなしの国、マレーシア」	大迫 佳乃
「笑ってみなきゃわからない！」	城山 千晴
「学びと 出会いと 感動と」	坂之上 琉生
「マレーシアで学んだこと」	久保田 紗那
「大好きなマレーシア」	朝田 真央
「挑戦・新鮮・マレーシア」	桑原 さくら
「マレーシアが私にくれたもの」	園田 春陽
「またいつか会える日を願って」	村上 由佳
「マレーシアでの学び」	前野 優夏
「マレーシアのおかげで」	大渡 彩也華
「幸せの在り方」	森田 遥香
「私にできる第一歩」	加世田 美雪
「本当の楽しみ方とは」	奥田 優希
「新しい価値観や視野」	井上 心結
「Seeing is believing」	徳永 理咲

団長報告 31

「マレーシアでの学びが「Build Your Dreams」」

弓場 秋信（鹿児島県青少年国際協力体験事業実行委員会会長）

同行者感想 32

「マレーシアでのホームステイ」	藤井 一彦
「JUMPALAGI ～またいつかどこかで～」	北田 尚子
「マレーシアを通して感じたこと」	五反田 えりな
「ジュンパラギ、マレーシア」	中野 あずさ
「異文化に飛び込んだ夏の1週間」	田上 晶

新聞記事（南日本新聞，奄美新聞，南海日日新聞） 37

参考資料 41

「鹿児島県青少年国際協力体験事業」の概要

「鹿児島県青少年国際協力体験事業」の実績

ごあいさつ



鹿児島県観光・文化スポーツ部長

悦田 克己

「第30回(令和5年度)鹿児島県青少年国際協力体験事業」の御成功を心からお喜び申し上げます。これも、事業実施に御尽力された弓場秋信実行委員会会長をはじめ、関係者の御支援・御苦勞の賜であり、心から敬意を表します。

また、皆様方にはかねてから本県の国際交流・国際協力の取組をはじめ、本事業に代表される青少年の海外体験の促進などに格別の御協力をいただいていることに対して、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

今回の体験事業では、参加者15名が、7月23日から7月30日まで7泊8日間の日程で、マレーシアを訪問し、現地で青少年活動、障害児・者支援活動を行っている青年海外協力隊員2人の活動現場を視察されたほか、現地家庭でのホームステイ等を体験してこられました。

今回の訪問国であるマレーシアは、1982年に当時のマハティール首相が提唱した「東方政策」や、頻繁な要人往来、直接投資や貿易・技術協力などを通じた緊密な経済関係、活発な文化・留学生交流に支えられ、日本とは良好な関係が続いております。

団員の皆さんは、帰国後、8月1日に県庁を訪問し、塩田康一知事及び地頭所恵教育長に報告をされました。皆さんからは、マレーシアの人々の心の温かさや、異文化交流の楽しさ、歴史・生活習慣・文化の違いによる戸惑い、青年海外協力隊の活動を現地で視察した感想など、それぞれの体験から様々なお話があったと伺っております。

今回の訪問で、団員の皆さんが自分の目で見て、感じ、考えてきたことは、実際に現地へ足を運ばなければ体験することのできない、たいへん貴重なものだと思います。それらを心に深く刻み、実行委員会の方や御家族、渡航先でお世話になった方など今回の訪問を支えてくださった全ての方々への感謝の気持ちを忘れず、今後も国際交流・国際協力や国際社会等についての学習を深められ、それらの担い手として、将来、御活躍いただくことを希望しております。

近年、県内の在留外国人の方々も急増していることなどから、県民の皆様方が国際理解を深め、多文化共生を進めていくことがますます重要になってきています。県では、今後とも、これに対応する必要な取組を積極的に進めてまいりたいと考えておりますので、皆様の一層の御協力をお願いいたします。最後に、「鹿児島県青少年国際協力体験事業」のますますの御発展と、関係の方々及び団員とその御家族の皆様方の御健勝・御活躍を祈念いたします。

第30回（令和5年度）鹿児島県青少年国際協力体験事業の概要

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|--|--------------|----------|----------------|--------------|---------------|-----------|----------|---------|----------|---------|----------------|---------|-----------|----------------|--------|---------|-----------|--------|
| 1 主催 | 鹿児島県青少年国際協力体験事業実行委員会
※ 構成団体 鹿児島県青年海外協力隊を支援する会
青年海外協力隊鹿児島県OB会
公益財団法人鹿児島県国際交流協会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 共催 | 鹿児島市，鹿屋市国際交流協会，枕崎市教育委員会，霧島市国際交流協会，南さつま市友好交流推進協議会，南九州市教育委員会，いちき串木野市国際交流協会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 後援 | 鹿児島県
鹿児島県教育委員会
独立行政法人国際協力機構九州国際センター | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 協力 | 在日本マレーシア大使館
マレーシア教育省ペラ州教育局 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 協賛 | <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">鹿児島北ロータリークラブ</td> <td style="width: 50%;">(株)鹿児島銀行</td> </tr> <tr> <td>鹿児島空港ビルディング(株)</td> <td>鹿児島トヨタ自動車(株)</td> </tr> <tr> <td>鹿児島ヨコハマタイヤ(株)</td> <td>キンコー醤油(株)</td> </tr> <tr> <td>小正醸造(株)</td> <td>薩摩酒造(株)</td> </tr> <tr> <td>(株)下堂園</td> <td>城山観光(株)</td> </tr> <tr> <td>大福コンサルタント(株)</td> <td>南国殖産(株)</td> </tr> <tr> <td>日本システム(株)</td> <td>(株)M i s u m i</td> </tr> <tr> <td>(株)山形屋</td> <td>弓場貿易(株)</td> </tr> <tr> <td>(株)レイメイ藤井</td> <td style="text-align: center;">【五十音順】</td> </tr> </table> | 鹿児島北ロータリークラブ | (株)鹿児島銀行 | 鹿児島空港ビルディング(株) | 鹿児島トヨタ自動車(株) | 鹿児島ヨコハマタイヤ(株) | キンコー醤油(株) | 小正醸造(株) | 薩摩酒造(株) | (株)下堂園 | 城山観光(株) | 大福コンサルタント(株) | 南国殖産(株) | 日本システム(株) | (株)M i s u m i | (株)山形屋 | 弓場貿易(株) | (株)レイメイ藤井 | 【五十音順】 |
| 鹿児島北ロータリークラブ | (株)鹿児島銀行 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 鹿児島空港ビルディング(株) | 鹿児島トヨタ自動車(株) | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 鹿児島ヨコハマタイヤ(株) | キンコー醤油(株) | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小正醸造(株) | 薩摩酒造(株) | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (株)下堂園 | 城山観光(株) | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 大福コンサルタント(株) | 南国殖産(株) | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 日本システム(株) | (株)M i s u m i | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (株)山形屋 | 弓場貿易(株) | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (株)レイメイ藤井 | 【五十音順】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 事業の流れ | <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">4月～5月</td> <td style="width: 50%;">募集・団員決定</td> </tr> <tr> <td>6月17日(土)</td> <td>第1回事前研修</td> </tr> <tr> <td>7月2日(日)</td> <td>第2回事前研修</td> </tr> <tr> <td>7月23日(日)</td> <td>出発</td> </tr> <tr> <td>7月30日(日)</td> <td>帰国</td> </tr> <tr> <td>8月1日(火)～24日(木)</td> <td>表敬訪問</td> </tr> <tr> <td>8月19日(土)</td> <td>報告会</td> </tr> <tr> <td>9月～10月</td> <td>報告書作成</td> </tr> </table> | 4月～5月 | 募集・団員決定 | 6月17日(土) | 第1回事前研修 | 7月2日(日) | 第2回事前研修 | 7月23日(日) | 出発 | 7月30日(日) | 帰国 | 8月1日(火)～24日(木) | 表敬訪問 | 8月19日(土) | 報告会 | 9月～10月 | 報告書作成 | | |
| 4月～5月 | 募集・団員決定 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6月17日(土) | 第1回事前研修 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7月2日(日) | 第2回事前研修 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7月23日(日) | 出発 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7月30日(日) | 帰国 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8月1日(火)～24日(木) | 表敬訪問 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8月19日(土) | 報告会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9月～10月 | 報告書作成 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 派遣国 | マレーシア | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 派遣期間 | 7月23日(日)～7月30日(日) | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9 派遣人員 | (1) 参加者 15名
(2) 引率者 6名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

参加者団員等名簿

■ 団 員

	名 前	性別	学 校	学年	市 町
1	おお さこ か の 大 迫 佳 乃	女	鹿児島市立甲東中学校	3	鹿児島市
2	き やま ち はる 城 山 千 晴	女	鹿児島県立鶴丸高等学校	1	鹿児島市
3	さかのう え りゅう せい 坂之上 琉 生	男	樟南高等学校	3	鹿児島市
4	くぼ た さ な 久保田 紗 那	女	鹿児島県立鹿屋高等学校	1	鹿屋市
5	あさ だ ま お 朝 田 真 央	女	鹿児島県立鹿屋高等学校	2	鹿屋市
6	くわ はら さくら 桑 原 さくら	女	枕崎市立立神中学校	3	枕崎市
7	その だ はる ひ 園 田 春 陽	女	鳳凰高等学校	1	枕崎市
8	むら かみ ゆう か 村 上 由 佳	女	霧島市立陵南中学校	1	霧島市
9	まえ の ゆう か 前 野 優 夏	女	鹿児島県立吹上高等学校	2	南さつま市
10	おお わたり さ や か 大 渡 彩也華	女	鹿児島県立加世田高等学校	1	南九州市
11	もり た はる か 森 田 遥 香	女	鹿児島県立鹿児島中央高等学校	2	いちき串木野市
12	かせだ み ゆき 加世田 美 雪	女	鹿児島県立市来農芸高等学校	2	いちき串木野市
13	おく だ まさ き 奥 田 優 希	男	瀬戸内町立古仁屋中学校	3	瀬戸内町
14	いの うえ み ゆ 井 上 心 結	女	樟南高等学校	3	薩摩川内市
15	とく なが り さ 徳 永 理 咲	女	鹿児島育英館高等学校	1	日置市

■ 同行者

	名 前	性別	備 考
1	ゆみ ば あき のぶ 弓 場 秋 信	男	鹿児島県青年海外協力隊を支援する会 事務局長
2	ふじ い かず ひこ 藤 井 一 彦	男	(公財) 鹿児島県国際交流協会 総務企画課長
3	きた だ なお こ 北 田 尚 子	女	青年海外協力隊マレーシア OV (養護)
4	ごたんだ えりな 五反田 えりな	女	青年海外協力隊スーダン OV (看護師)
5	なか の あずさ 中 野 あずさ	女	南日本新聞社編集局報道部 記者
6	たの うえ あきら 田 上 あきら	男	鹿児島放送報道情報センターニュース部 記者

スケジュール

月 日	曜	地 名	時 刻	交通機関	内 容	宿 泊
7月23日	日	鹿児島中央駅 鹿児島中央駅発 博多駅到着 福岡空港着 福岡空港発 バンコク着 バンコク発 クアラルンプール着 空港発 ホテル着	5:10 6:08 7:44 8:30 11:35 14:55 16:40 19:50 20:30 21:30	新幹線 ジャンボタクシー - TG649 TG417 専用車	集合・結団式 福岡空港へ移動 チェックイン ホテルへ移動 コーラスホテル予定	ホテル
7月24日	月	ホームステイ先		バス	午前：JICA 現地事務所訪問 午後：ホームステイ先へ移動 ペラ州レンゴン地区	ホームステイ
7月25日	火	ホームステイ先		バス	午前：青年海外協力隊活動視察 【障害児・者支援 田ノ畑 祥一 隊員】 午後：現地中学生との交流 学校名：Sekolah Menengah Kebangsaan Sultan Azlan Shah	ホームステイ
7月26日	水	ホームステイ先		バス	午後：青年海外協力隊活動視察 【青少年活動 谷口 亮 隊員】 夕方：ホストファミリーと過ごす	ホームステイ
7月27日	木	シェムリアップ タトラヴ村（シェムリアップ）			終日：ホストファミリーと過ごす お別れ会	ホームステイ
7月28日	金	ホテル		バス	午前：村とのお別れ 午後：クアラルンプール視察	ホテル
7月29日	土	ホテル発 クアラルンプール発 バンコク着	17:00 20:55 22:05	バス 専用車 TG418	クアラルンプール視察 レイトチェックアウト	機内泊
7月30日	日	バンコク発 福岡空港着 空港発 かごしま県民交流センター着 かごしま県民交流センター	0:50 8:00 9:00 13:30 14:00	KE785	解団式	

地図

